取扱説明書

アニマルキラー®

4300DC2 （電池タイプ）
4300DC2-SL（ソーラータイプ）
4300DC2-AD（アダプタープラグタイプ）

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書には、タイガー電柵器「アニマルキラー4300Ⅱ」シリーズの使い方がまとめられています。
内容をご理解したうえで、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管してください。
尚、本仕様および外観は製品改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
URL：www.tiger-mfg.co.jp

＊鳥獣害防止の得意技あります――。

使用上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに表示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
使用に際しては、法律及び条例を守り正しくお使いください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し説明しています。

警告　注意

「してはいけないこと」を示しています。

「しなければいけないこと」を示しています。

危険　誤った取扱いをすると、死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

雷が発生しているときは、本器及び、柵線に近づかないでください。
感電の原因になります。

本器を有刺鉄線に接続して電気を流さないでください。
人体に重大な危険を及ぼすことがありますので絶対におやめください。

心疾患をお持ちの方は電柵器や柵線などには絶対に触れないでください。
ペースメーカーや医療機器等が影響を受ける可能性があります。

警告　誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

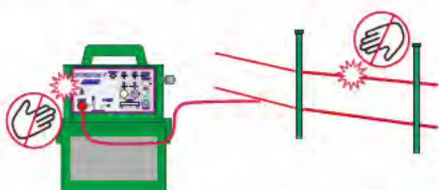
制御部の改造・修理・加工を行わないでください。
発火・感電の原因になります。

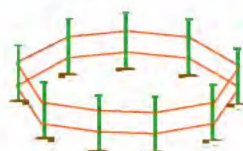
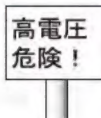
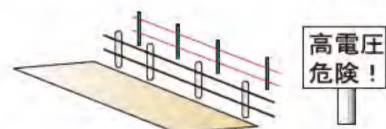
動作中に制御部の端子や柵線を触らないでください。
感電の原因になります。

心疾患をお持ちの方は電柵器や柵線などに近づかないでください。
ペースメーカーや医療機器等が影響を受ける可能性があります。

本製品は、動物用です。人間には使用しないでください。
感電の原因になります。

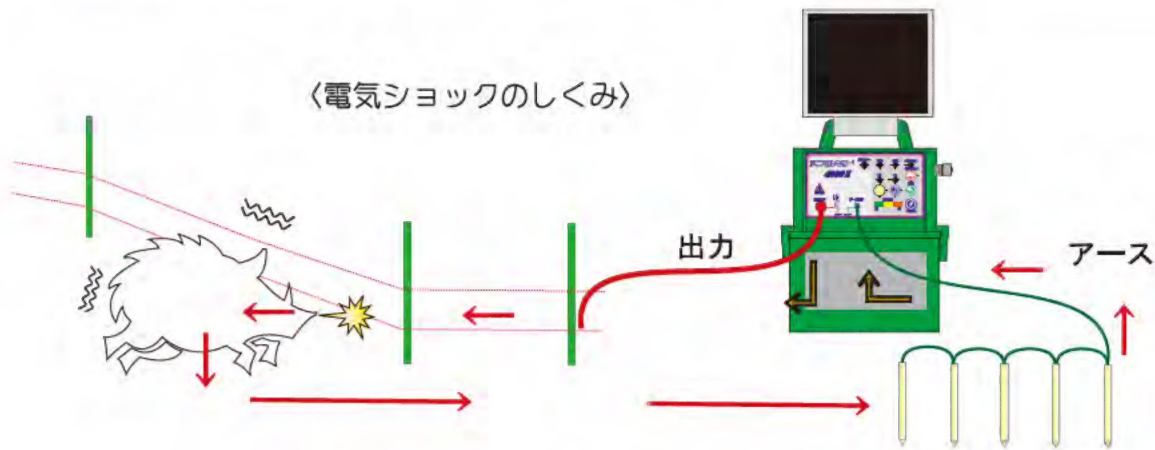
「きけん」表示を柵線周囲に必ず設置し、使用の際は近隣住民に注意を喚起してください。

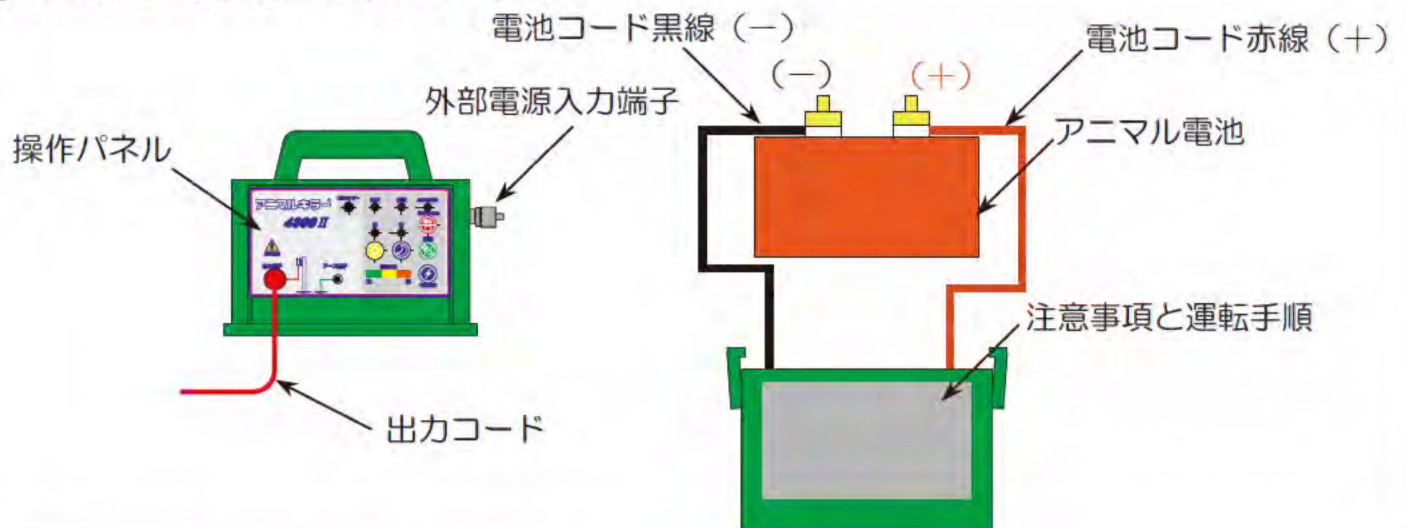
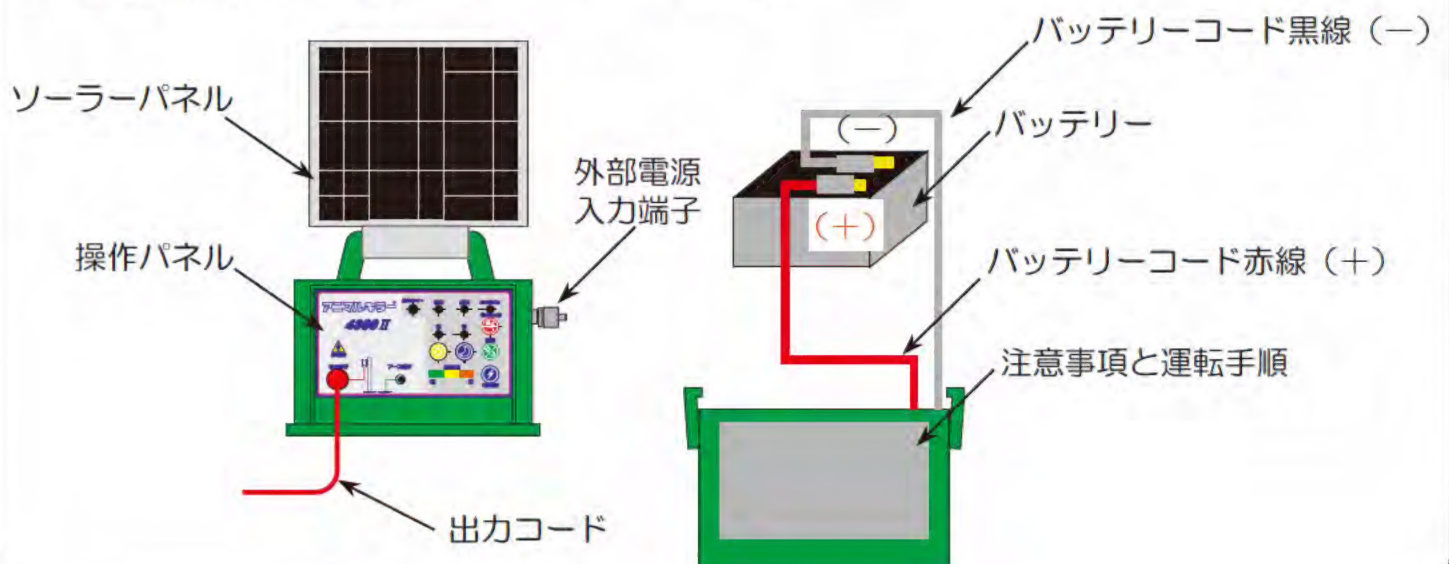
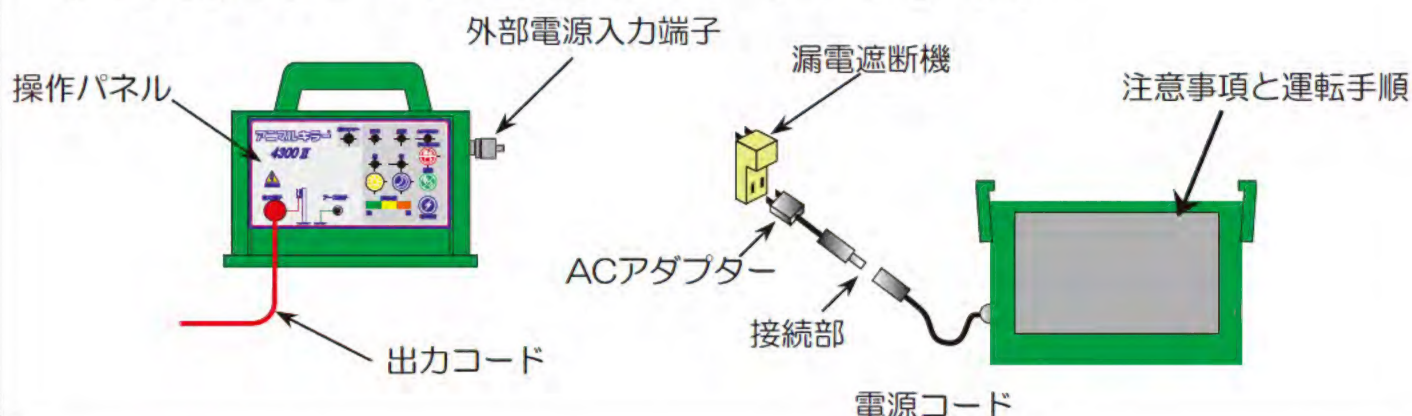
制御部の隙間に細い棒や針金を入れたり、指などを入れないでください。
感電・故障の原因になります。

幼児の手が届く範囲に電気柵関係資材を設置しないでください。
ケガ・感電の原因になります。

火の近くや、引火しやすいもののそばで使用しないでください。
発火の原因になります。

公道の近くで設置する場合は、ガードフェンスを設け、「きけん」表示を行ってください。
感電の原因になります。

本器、柵線の設置、柵線の修繕を行うときは必ず本器の電源スイッチが停止になっていることを確認してください。
感電の原因になります。

注意　誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

柵線、支柱などは指定の商品をご使用ください。
発火の原因になります。

電気柵の基礎知識

ご注意 ＊アースが確実でなければ、動物に十分な電気ショックを与えることができません。
アース線の断線やアース不良のないようにご注意ください。また、故障の原因にもなりますのでご注意ください。
＊柵線・支柱などの資材は当社の指定商品をご使用ください。電気的性能が十分に発揮されないことがあります。

各部の名称と働き

各部の名称と働き

付属品

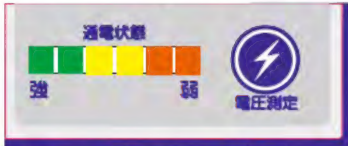
5連アース棒

危険表示板×2

取付ブラケット
（ネジ2個付）

取扱説明書（本書）
・盗難保証登録用紙

外部バッテリーコード

漏電遮断器・
ACアダプター
(アダプタープラグタイプのみ)

操作パネル

各ボタンを押すと確認音(ピー音)が鳴ります。

①昼夜センサー
明るさを感知して昼夜を判定します。
昼間にセンサーを覆ったり、夜間に光が当たると誤作動しますのでご注意ください。

②出力ランプ
運転中、正常に電気が流れているときに点滅します。

③点検ランプ
出力電圧が低下すると点滅します。

④電池確認ランプ

⑤停止／電池確認ボタン
運転を停止するときに押します。
押し続けると、電池残量があれば電池確認ランプが点灯します。

⑥連続運転ボタン
「昼夜連続運転」をするときに押します。
運転中出力ランプが点滅します。

⑦電圧測定ボタン
通電電圧を調べるときに押します。
通電電圧に応じてレベルメーターが点滅します。

⑧レベルメーター

⑨夜運転ボタン
夜間のみ運転するときに押します。
夜ランプが点灯し昼夜センサーにより自動で夜間だけ柵線に電気が流れます。

⑩昼運転ボタン
昼間のみ運転するときに押します。
昼ランプが点灯し昼夜センサーにより自動で昼間だけ柵線に電気が流れます。

⑪出力端子
出力電圧が発生する端子です。

⑫アース端子
アースを接続する端子です。アース線を確実に接続してください。

アニマルキラー®
4300 II
昼夜センサー　出力　点検　点灯時残量有
停止電池確認
昼　夜　連続
感電注意
出力端子　アース端子
通電状態
強　弱
電圧測定

レベルメーター

電圧測定ボタンを押しているとき、通電電圧の強さに合わせレベルメーターが点滅します。点滅が赤ランプだけのときは電気が弱くなっています。柵線の点検や電池残量の確認をしてください。

電気の強さ	強 （電圧が強く出ています。問題ありません。）		弱 （電圧が弱くなっています。点検を行ってください。）
出力電圧の目安	4000V以上	4000～3000V	3000～2000V
表示			

レベルメーターの表示は目安です。
正確な電圧測定は本器から最も遠い柵線をタイガー純正テスターにて測定してください。

本器の準備

①4300DC2…電池タイプ

①両サイドのフックをはずし制御部と電池ケースを分離する。

②アニマル電池のキャップと端子のネジをはずす。

③電池コードを赤線は＋に黒線は－にアニマル電池に接続して②ではずした端子のネジで固定する。

④制御部と電池ケースを合体させてフックで固定する。

＊アニマルキラー乾電池はマンガンタイプで内容物は市販のマンガン乾電池と同じものです。
使用後は一般ゴミ（燃えないゴミ）として廃棄することができます。
但し、自治体によって収集の仕方が異なりますので、その指示に従ってください。
廃棄時には、＋－間でのショートを避けるために、ご購入時に－端子に被せてある黒いキャップを被せるか、テープなどで端子をマスキングしてください。

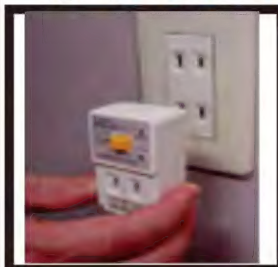
本器の準備（つづき）

②4300DC2－SL…ソーラータイプ

①両サイドのフックをはずし制御部とバッテリーケースを分離する。

②バッテリーコードを赤線は＋に黒線は－にバッテリーに接続する。

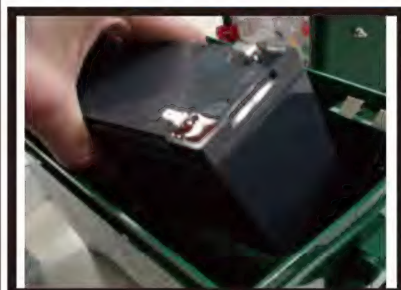
③制御部とバッテリーケースを合体させてフックで固定する。

③4300DC2－AD…アダプタープラグタイプ

①漏電遮断機をコンセントに差込む。

②ACアダプターを本器の接続部に接続する。

③ACアダプターのプラグを漏電遮断機に差込む。

注）・ACアダプタータイプを使用する場合１５mAの漏電遮断機が必要となります。（電気設備基準に準拠）
・コンセントなどに接続するときは、感電に注意してください。

④外部バッテリーを使う場合…電池ﾀｲﾌﾟ、ｿｰﾗｰﾀｲﾌﾟ、ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰﾌﾟﾗｸﾞﾀｲﾌﾟ

①内蔵されたアニマル電池やバッテリーを取り出す。アダプタープラグタイプの場合はコンセントを抜く。（写真はソーラータイプです）

②外部バッテリーコードの赤線は＋に黒線は－にそれぞれの外部電源入力端子に接続する。

③外部バッテリーコードの赤線は＋に黒線は－にそれぞれのバッテリー端子に接続する。

注1）外部バッテリーコード及び12Vバッテリーの（＋）と（－）の接続は間違えないようにしてください。
注2）①ではずした後の電池ケース内にある（＋）と（－）のコード先端の端子は接触することのないようにテープなどで絶縁してください。

・別売のバッテリーボックスに収納してお使いいただくと風雨からバッテリーを守ることができます。

柵線の設置

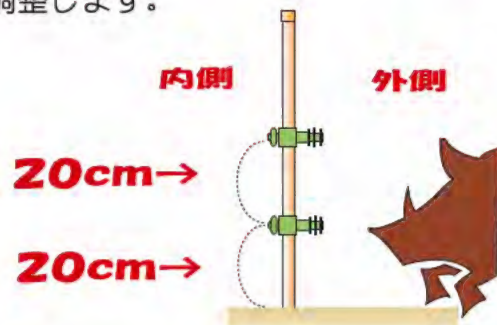
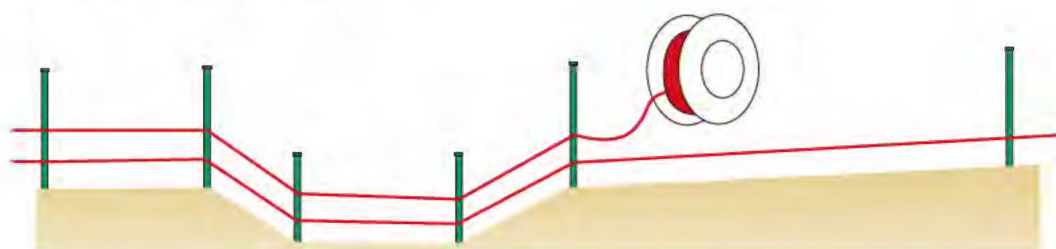
①草刈り枝払いをして、雑木や金属棒などの障害物を取り除きます。

◎雑草や金属棒などは柵線に触れると
漏電（電圧低下）の原因になります。

②支柱（ポール）を３～４ｍ間隔で打ち込みます。
その際、ガイシのある側が外側になります。

◎地形に凹凸がある場合は下図のように細かく
打ち込んでください。

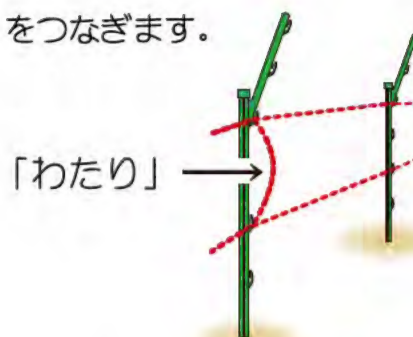
③ガイシをポールに取り付けます。その際、２０ｃｍ間隔に調整します。
（ガイシ付ポールは不要です。）

◎対象動物が歩行するときの鼻の高さにします。
このとき、高すぎたり、間が開きすぎたりしますと
もぐりこまれてしまいますのでご注意ください。

④下の段から柵線を張っていきます。

◎柵線の高さは地面と平行になるように、凹凸や周囲の状況に応じて支柱（ポール）を増やしたり、
柵線の段数を増やしたりしてください。（下からの潜り込みに注意してください。）

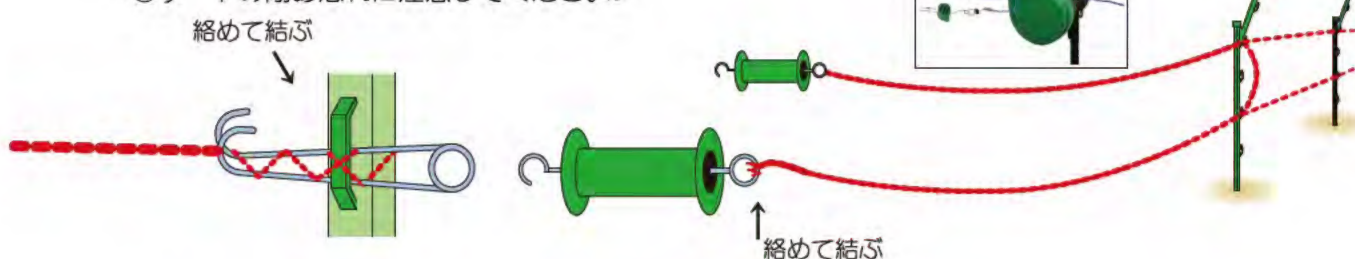
ご注意　柵線をつなぎ合わせる時、違う種類の柵線を使用しないでください。電気腐食の原因になります。
また、柵線をつなぎ合わせる時は確実に接触面積が多くなるように巻きつける回数を多くしてください。

柵線の設置

⑤およそ３０ｍ間隔に一ヶ所、上下の柵線を結ぶ「わたり」をつなぎます。

◎「わたり」は断線の際、バイパスの役割をするだけでなく、柵線の総延長距離や、出力電圧を安定させます。

⑥機械や人の出入りがあるところにはゲートを設置します。
※別売のゲートリールを使うとゲートの開閉が簡単になります。

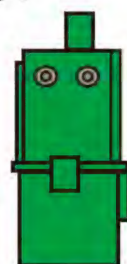
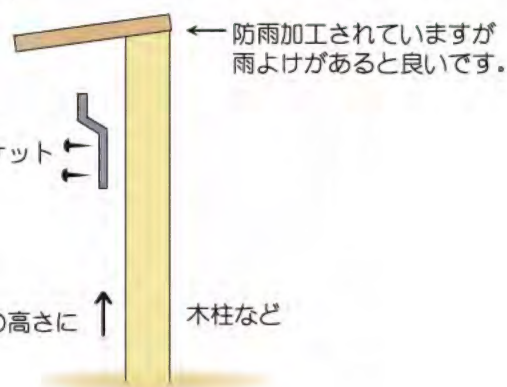
ゲートリール

◎ゲートの閉め忘れに注意してください。

本器の設置

①付属の取付ブラケットを頑丈な木柱や壁面などに固定し、
本体背面に差し込みます。

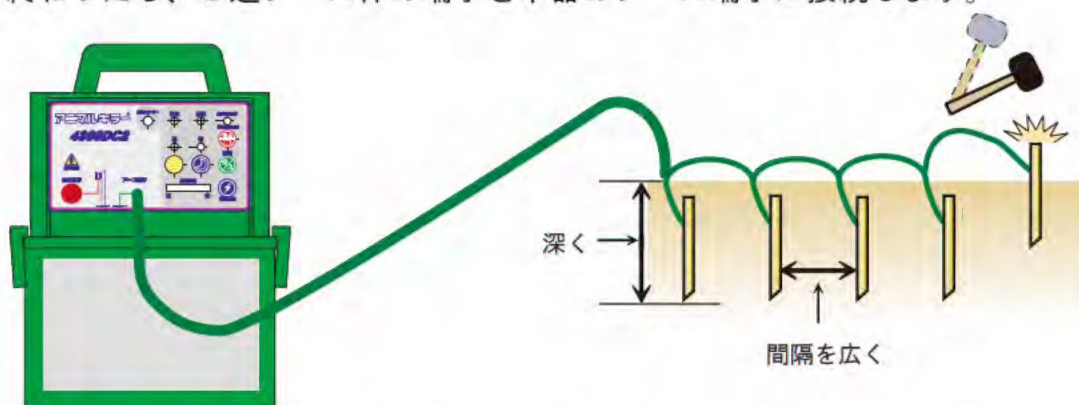
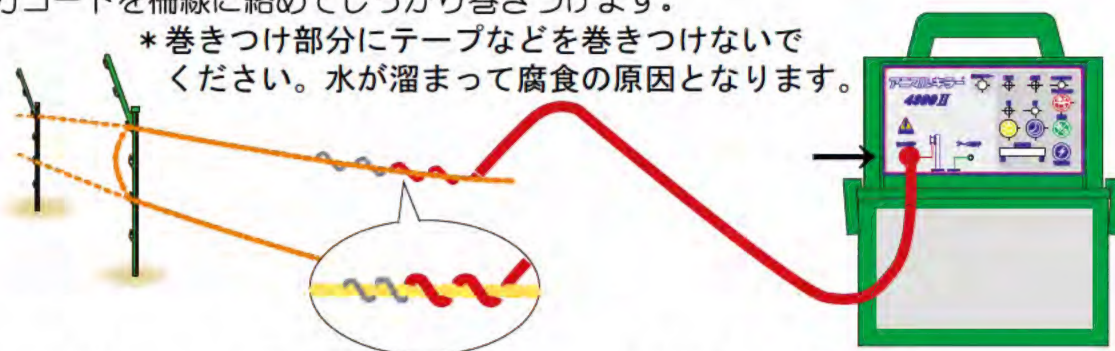
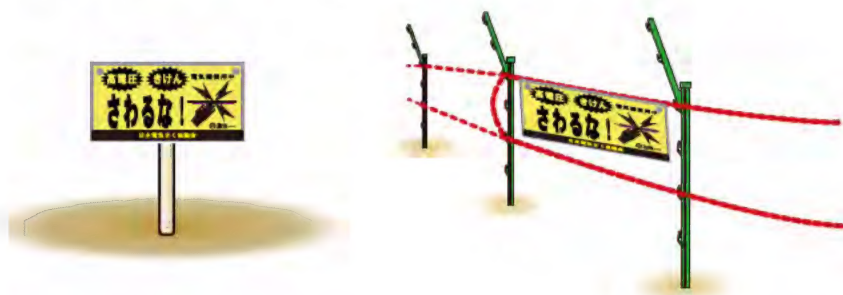
← 防雨加工されていますが雨よけがあると良いです。

木柱など

※ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰﾌﾟﾗｸﾞﾀｲﾌﾟについて ACｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ・接続部に水がかからないようにしてください。

ソーラータイプはなるべく日光が当たる所に設置し、
ソーラーパネルを真南に向けてください。

ソーラーパネルは、きれいな布などでこまめに拭いてください。
汚れや、落ち葉などでソーラーパネルに影ができると発電を全くしなくなる場合があります。

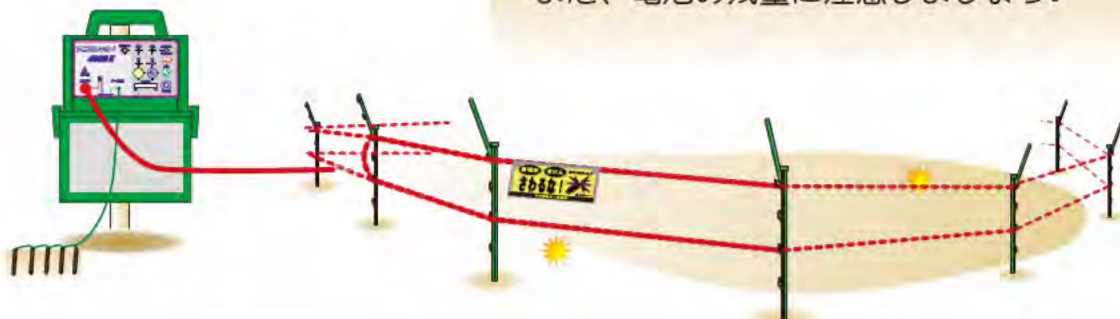
本器の設置

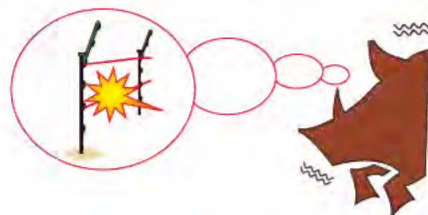
②５連アース棒を湿気の多い場所ににできるだけ間隔を広げ、地中深く打ち込みます。
打ち込みが終わったら、５連アース棒の端子を本器のアース端子に接続します。

③出力コードを柵線に絡めてしっかり巻きつけます。
＊巻きつけ部分にテープなどを巻きつけないでください。水が溜まって腐食の原因となります。

④人通りのある場所や、出入りのある場所に危険表示板を設置します。
また、ご近所に注意を喚起してください。

⑤操作パネルの運転ボタンを押して通電させ、
本器から最も遠いところで電圧をチェックします。

本器の設置

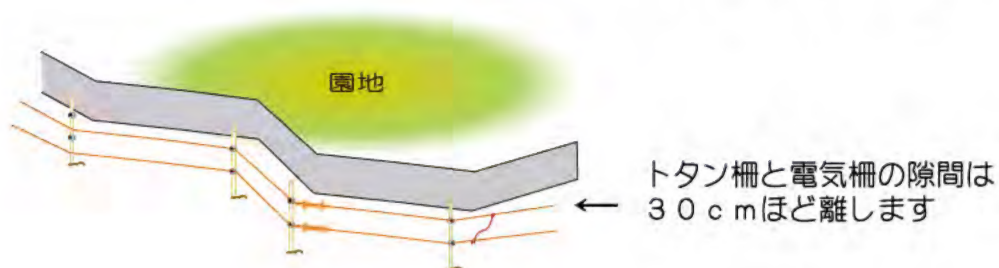
完成

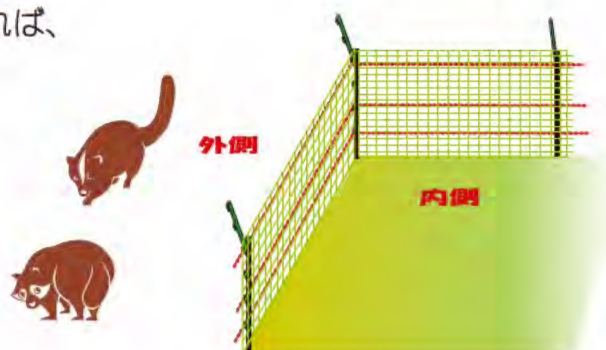
◎できるだけ連続運転してください。(特に使い始め)
電気ショックの衝撃で対象動物に危険認識させます。

＊設置後は草刈りなどの維持管理が大切です。
また、電池の残量に注意しましょう。

補足

①電気柵を設置している間は必ず運転させ、電気を流してください。
運転しない時期は速やかに撤去してください。
害獣の危険認識が薄れて電気柵が破壊される
おそれがあります。

②トタンなどを併設する場合。

＊トタン柵は視覚的に作物を見えづらくする効果があります。
（ただし、金属が柵線に触れないように注意してください。）

トタン柵と電気柵の隙間は
←　３０ｃｍほど離します

③専用支柱の内側に防除ネットなどを併設すれば、
ハクビシン・タヌキの小動物も防げます。

外側
内側

維持・保守管理について

＜全機種共通＞

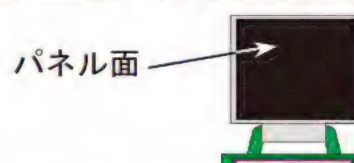
□本器は防雨構造です。水をかけたり・水没させないでください。
　故障・感電の原因になります。
□本器や柵線をこまめに点検してください。漏電による電圧低下・電池残量の減少，
　アース状況は特にご注意ください。
□草木がよく伸びる季節は、草木が柵線に触れないようご注意ください。
　漏電の原因になります。
□風雨が強いときは、異物が飛来したり、増水により柵線が水没する場合があります
　ので点検を行ってください。

＜4300DC2：電池タイプ＞

□長期間使用しない場合は、アニマル電池を本体からはずし冷暗所で保管してください。
□アニマル電池は乾電池です。充電はできません。また、ショートしたり分解・修理
　しないでください。
□電池交換の時にアニマル電池の入手がすぐには困難な場合は、12Vタイプの
　外部バッテリーを接続することも可能です。
□外部バッテリーを使用するときは、外部バッテリーの取扱説明書に従って、安全に
　ご使用ください。
□アニマル電池はマンガンタイプで内容物は市販のマンガン乾電池と同じものです。
　使用後は一般ゴミ（燃えないゴミ）として廃棄することができます。
　但し、自治体によって収集の仕方が異なりますので、その指示に従ってください。
　廃棄時には、＋－間でのショートを避けるために、ご購入時に－端子に被せてある黒
　いキャップを被せるか、テープなどで端子をマスキングしてください。

＜4300DC2-SL：ソーラータイプ＞

□ソーラーパネルのパネル面（黒い部分）に少しでも汚れや異物が付着したり、影が
　さしたりすると発電できない場合があります。こまめに汚れや異物を取り除いたり
　影がささない場所に設置するなどしてください。

パネル面

□長期間使用しない場合は、本体を動作させない状態で日光に5～6時間当てソーラ
　バッテリーを満充電してください。
　充電完了後、本体からソーラーバッテリーをはずして保管してください。
□車用の充電器では充電できません。充電は本体に取り付けて行ってください。
□ソーラーバッテリーはショートしたり、分解・修理しないでください。
□ソーラーバッテリーは冷暗所で保管してください。
□外部バッテリーを使用するときは、外部バッテリーの取扱説明書にしたがって、安
　全にご使用ください。

＜4300DC2-AD：アダプタープラグタイプ＞

□ACアダプター、接続部は水がかからないようにしてください。
□コンセントやプラグにホコリがたまらないようこまめに拭いてください。

故障かなと思ったら･･･　＜4300DC2　乾電池タイプ＞

まず本器の故障なのか、本器以外の異常なのかを確認します。
本器から出力コードとアース線をはずして、本器と電気柵システムを分離してください。

↓

1. 本器の状態を確認します。

※合わせてP10の「維持・保守管理について」もご参照ください。

2. 電気柵システムの状態を確認します。

出力コードの点 → 出力コードが断線したり接続が外れたりなどしている。（P8参照） → 出力コードを修繕や買い替えるなどしてください。

↓

問題はない。

↓

アースの点検 → アース線が断線したり、接続が外れたりなどしている。（P2、P8参照） → アースを修繕や打ち込み直したり、買い替えるなどしてください。

↓

問題はない。

↓

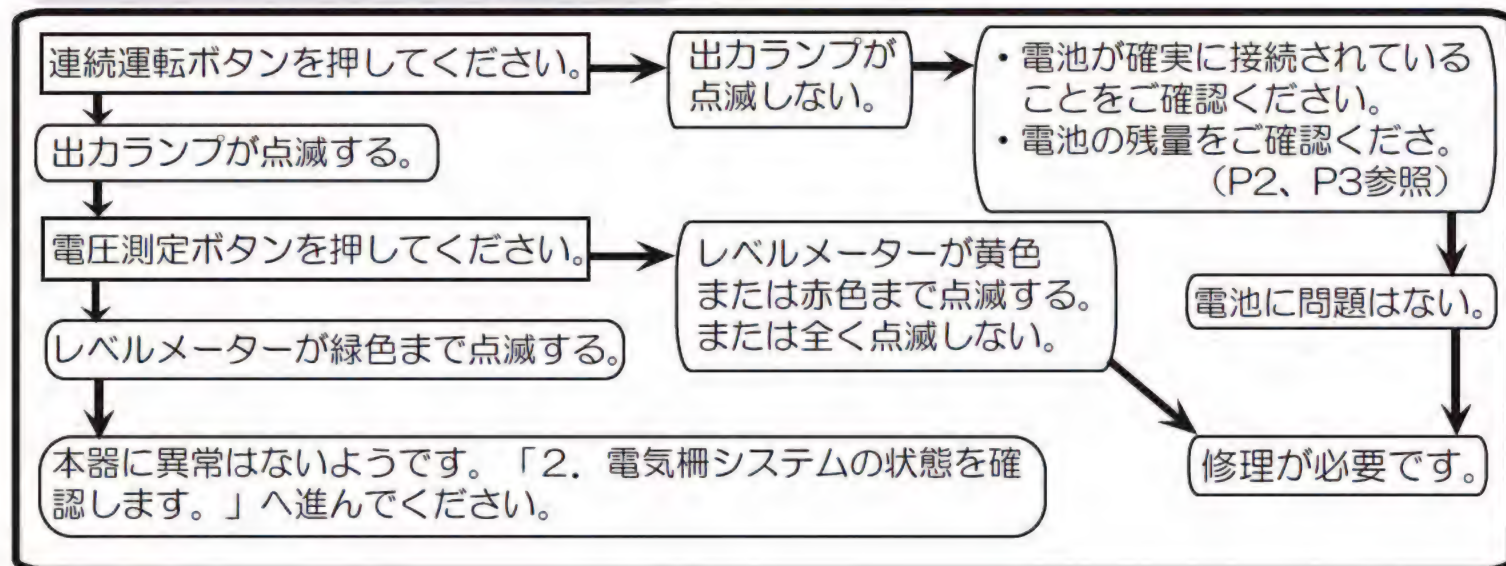
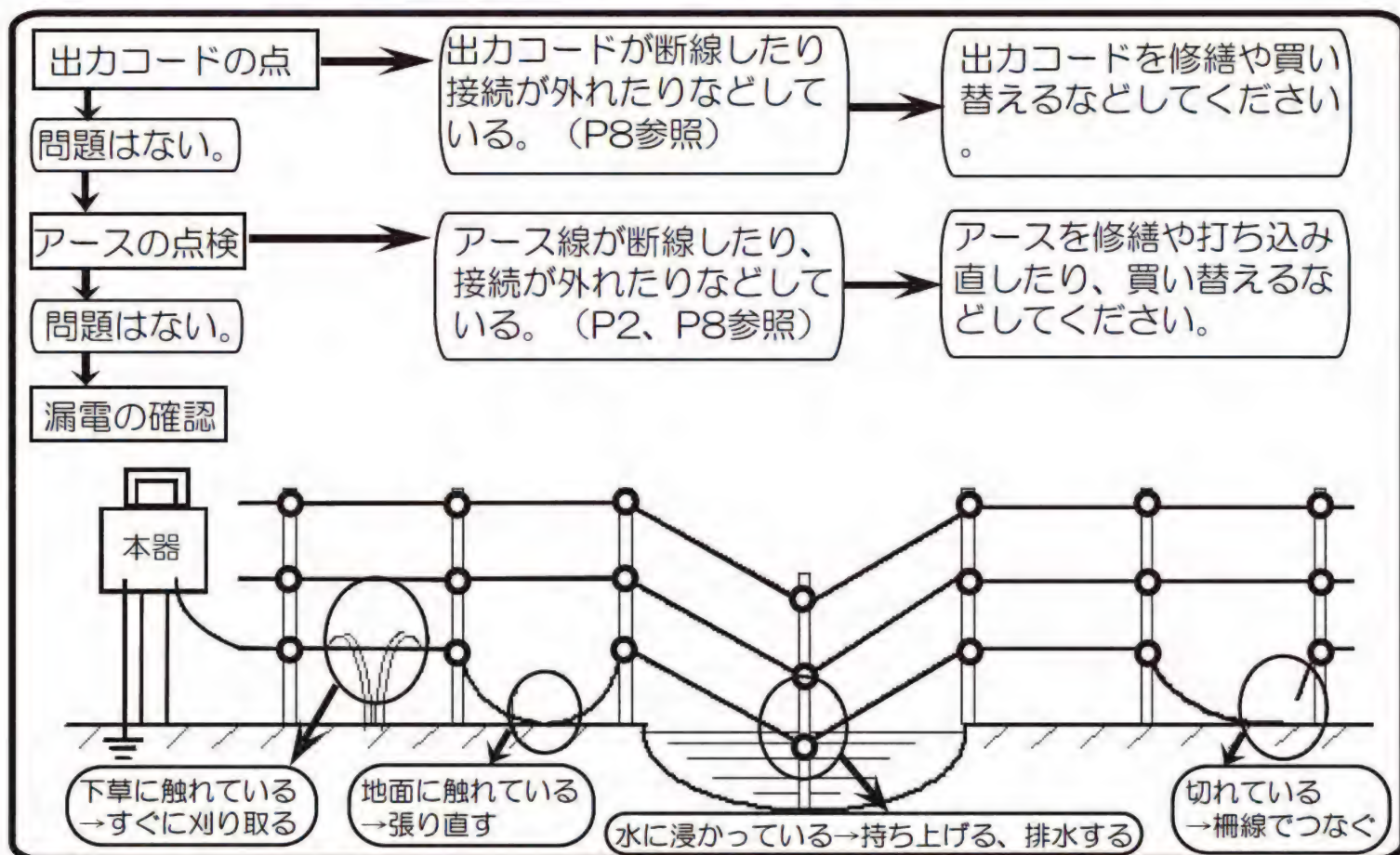
漏電の確認

本器

下草に触れている→すぐに刈り取る

地面に触れている→張り直す

水に浸かっている→持ち上げる、排水する

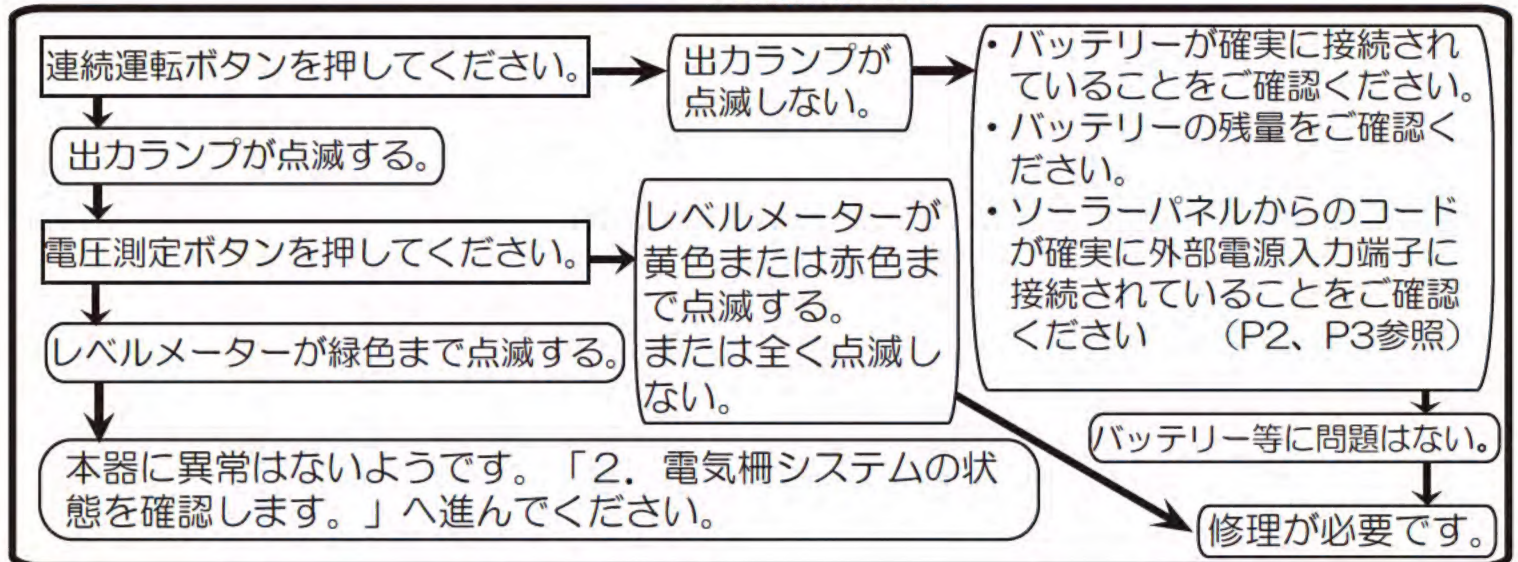
切れている→柵線でつなぐ

問題は解決できましたでしょうか？
まだ解決できない場合はお買い上げの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

故障かなと思ったら･･･　<4300DC2-SL ソーラータイプ>

まず本器の故障なのか、本器以外の異常なのかを確認します。
本器から出力コードとアース線をはずして、本器と電気柵システムを分離してください。

↓

1. 本器の状態を確認します。

※合わせてP7、P10の「維持・保守管理について」もご参照ください。

2. 電気柵システムの状態を確認します。

出力コードの点検 → 出力コードが断線したり、接続が外れたりなどしている。（P8参照） → 出力コードを修繕や買い替えるなどしてください。

↓

問題はない。

↓

アースの点検 → アース線が断線したり、接続が外れたりなどしている。（P2、P8参照） → アースを修繕や打ち込み直したり、買い替えるなどしてください。

↓

問題はない。

↓

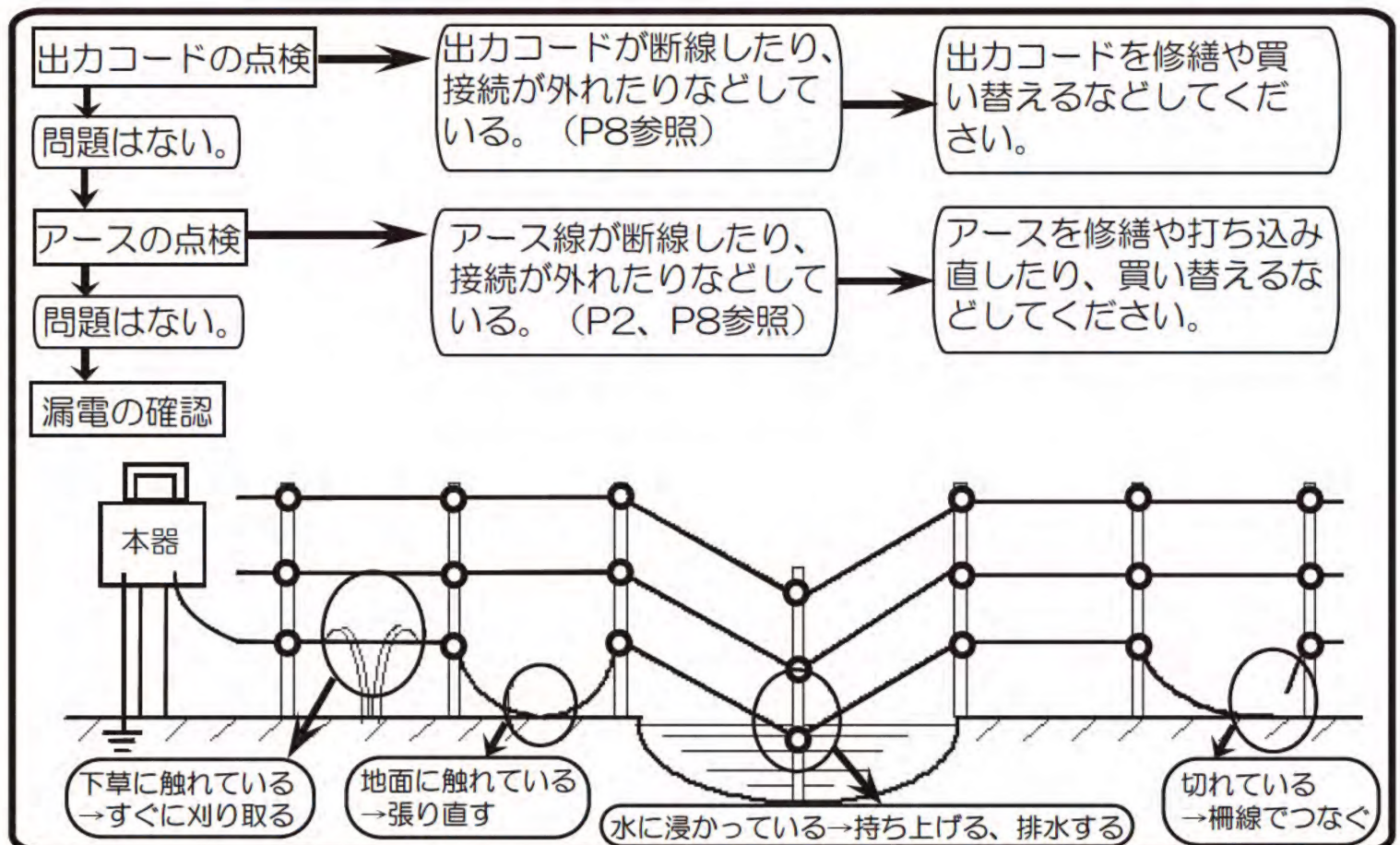
漏電の確認

本器

下草に触れている
→すぐに刈り取る

地面に触れている
→張り直す

水に浸かっている→持ち上げる、排水する

切れている
→柵線でつなぐ

問題は解決できましたでしょうか？
まだ解決できない場合はお買い上げの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

故障かなと思ったら･･･　＜4300DC2-AD　アダプタープラグタイプ＞

まず本器の故障なのか、本器以外の異常なのかを確認します。
本器から出力コードとアース線をはずして、本器と電気柵システムを分離してください。

↓

1. 本器の状態を確認します。

※合わせてP10の「維持・保守管理について」もご参照ください。

2. 電気柵システムの状態を確認します。

出力コードの点検 → 出力コードが断線したり接続が外れたりなどしている。（P8参照） → 出力コードを修繕や買い替えるなどしてください。

↓

問題はない。

↓

アースの点検 → アース線が断線したり、接続が外れたりなどしている。（P2、P8参照） → アースを修繕や打ち込み直したり、買い替えるなどしてください。

↓

問題はない。

↓

漏電の確認

本器

下草に触れている →すぐに刈り取る

地面に触れている →張り直す

水に浸かっている→持ち上げる、排水する

切れている →柵線でつなぐ

問題は解決できましたでしょうか？
まだ解決できない場合はお買い上げの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

タイガー アニマルキラー
「電柵器」

保 証 書

Since 1951
TIGER MFG.CO.,LTD

品　名	アニマルキラー4300DC2 4300DC2ｿｰﾗｰﾀｲﾌﾟ 4300DC2ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰﾌﾟﾗｸﾞﾀｲﾌﾟ	型式番号	TAK-4300DC2 4300DC2-SL 4300DC2-AD
保証対象	本器	保証期間	（お買い上げ日から）１年間

乾電池、バッテリー、コード、キャップ類、危険表示板、パッキン、取付金具、アースなどの消耗品と漏電遮断機は保証対象から除きます。

☆ お買い上げ日	年　　月　　日
☆お客様	☆販売店
ご芳名	住所・店名
ご住所 〒	㊞
電話（　　）　ー FAX（　　）　ー	電話（　　）　ー FAX（　　）　ー

注. ☆印欄への記入と販売店印がない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

販売店様:販売店名の記入、押印をお願いします。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、弊社またはお買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、弊社またはお買上げの販売店にご依頼ください。

１．無償修理規定

（１）保証期間内に正常な使用状態において万一故障した場合には無償で修理いたします。

（２）保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

イ）使用上の誤り、またはお客様等による改造や不適切な修理による事故または損傷。

ロ）お買上げ後の落下、輸送、設置場所の移動、水没、農薬の付着などによる故障または損傷。

ハ）火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、ならびに公害や異常電圧の印加、その他外部要因による故障または損傷。

ニ）本来の使用目的以外に使用された場合の故障または損傷。

ホ）本書のご提示がない場合。

ヘ）本書にお買上げ年月日、お客様の名前、販売店名の記入及び印がない場合、あるいは文句を書き換えられた場合。

ト）インターネットオークション（オークションストア含む）、中古販売、個人間取引（譲渡等含む）で購入した場合。

（３）本書は日本国内のみにおいて有効です。

（４）本書の再発行はいたしません。紛失しないように大切に保管してください。

２．補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後７年です。

（性能部品とは製品の機能を維持する為に不可欠な部品です。）

★本保証書には本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、弊社または販売店にご相談ください。

〒565-0822　大阪府吹田市山田市場10番１号
TEL：(06) 6878-5421　FAX：(06) 6875-5677
ホームページ：http://www.tiger-mfg.co.jp
メール：info@tiger-mfg.co.jp